



プレゼンテーション（しんわルネッサンス）

[公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会](#)は、海外から講師を招聘し障害者・高齢者雇用の先進的な事例を学ぶ事業として「日本型ソーシャルファームの推進に向けたシンポジウム」を企画、本年度も、2016年9月18日（日）、イギリス、ドイツ、フィンランドの専門家を招き、戸山サンライズ（東京新宿）において[国際セミナー](#)が開催されました。

これに先立ち、9月16日（金）、上記3ヶ国から来日された[ソーシャルファーム](#)の専門家に浦和大学の寺島彰教授、並びに協会事務局の皆様が、研進・進和学園の取り組みをご視察されました。日本の先進事例として訪問先に選定頂いたことは、誠に光栄なことであり、①[ホンダ車部品組立](#) ②農産物加工場「[湘南工房](#)」 ③[いのちの森づくり](#) ④[しまむらストアー施設外就労](#)を中心にご案内申し上げました。



ホンダ車部品組立



農産物加工場「湘南工房」



しまむらストアー施設外就労

皆様には、大変熱心にご覧頂き、障害者雇用や福祉的就労の拡充に関し活発な質疑が交わされました。欧州のソーシャルファームの動向は、今後の日本の制度・施策の在り方に貴重な示唆を与えてくれます。相互の情報交換と交流から触発されることも多く、このような機会に恵まれましたことを、心より感謝申し上げます。

<ご視察者>

- ・ ユッカ・リンドバーグ氏（バテス財団 開発部長／フィンランド）
- ・ ゲーロルド・シュワルツ氏（ドイツ国際協力公社 民間開発プログラム 責任者／ドイツ）
- ・ キース・シモンズ氏（ソーシャルファーム・ウェールズ 業務部長／イギリス）
- ・ 寺島彰教授（浦和大学総合福祉学部 学部長・教授）
- ・ 事務局 3名（日本障害者リハビリテーション協会他）

